

講演会2022

“バイオ界面で働く光応答性の合成分子ツール”

山口 哲志 先生

東京大学 工学系研究科 准教授



令和4年9月22日(木) 15:00~16:15 E104番教室

◇概要◇ 生命システムは、分子レベルから個体レベルに至るまで、それぞれの階層で構成要素間の相互作用を介して活動し、制御されている。従って、その界面での相互作用を人為的に光制御できる分子ツールを開発すれば、任意の生命システムを光によって遠隔操作できると考えられる。そこで、分子や細胞の相互作用を効果的に光制御できる分子ツールを開発してきた。本講演会では、我々が開発してきた「嵩高いケージング技術」「ケージド細胞」「光応答性細胞固定化剤」について、その開発戦略から応用まで紹介する。

(大学院講義(特別講義)の一環として開催される公開講演会です。多数のご来聴を歓迎いたします。)

連絡先：化学・生命工学科(生命化学コース) 池田 将(内線 2639, E-mail: m_ikeda@gifu-u.ac.jp)